

新型コロナウイルス感染症対策としての  
「日本学生トリアスロン連合大会開催ガイドライン」

日本学生トリアスロン連合

## 1. 大会前

- ・普段から密閉・密集・密接を避け、こまめな手洗いうがい、アルコール消毒、咳エチケットに気を付け、健康維持に努めること。感染リスクが高い場所を避けること。大会会場でも同様の行動を行うこと。
- ・大会2週間前から google フォームの健康チェックシートを記入しておくこと。宿泊を伴う場合は宿泊先も必ず記入すること。
- ・参加者は、厚生労働省が配布する新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）への登録をしておくこと。
- ・咳や発熱など、少しでも感染の疑いがある場合は来場しないこと。
- ・会場までの交通手段は可能な限り自家用車もしくはレンタカーを使用すること。
- ・体調管理に努め、十分な練習を積み、大会に参加すること。
- ・気温及び水温の低下が予想されるため、低体温症に対する対策も万全にして参加すること。決して無理をしないこと。
- ・宿泊先で発熱等の症状が出た場合は、宿泊先所在地の自治体が指定する感染症指定医療機関へ連絡をすること。感染症指定医療機関が不明の場合は、近隣の診療所等には連絡せずに事務局（070-4427-8114）まで連絡をすること。

## 2. 受付、競技説明会

### <前日受付>

- ・受付会場へは、密集を避けるため各大学代表者1名と付き添い1名の計2名以下で参加すること。
- ・必ずマスクを着用すること。
- ・受付時に検温を行うこと（非接触）。37.0℃以上の微熱がある場合や体調が優れない等の自覚症状がある場合は、ご自身の判断で参加自粛をお願いします。37.5℃以上の発熱がある場合は、いかなる場合も速やかに帰宅してください。
- ・ソーシャルディスタンス（2m程度）を取ること。
- ・健康チェックシートを提出すること。宿泊を伴う場合は、必ず宿泊先名も記入すること。
- ・受付後は、速やかにその場を離れること。
- ・競技説明会はオンラインで実施します。オンラインでの参加が出来ない方は、現地にて競技説明会動画を確認すること。
- ・大会が設定する新型コロナ対策ガイドラインに協力いただけない方は競技への参加を認めません。

### <当日受付>

- ・受付会場での密集を避けるため、前日受付時に大学ごとに当日受付の時間帯を指定するので、指定時間帯厳守で受付を行うこと。
- ・競技中以外は必ずマスクを着用すること。
- ・受付時に検温を行うこと（非接触）。37.0℃以上の微熱がある場合や体調が優れない等の自覚症状がある場合は、ご自身の判断で参加自粛をお願いします。37.5℃以上の発熱がある場合は、いかなる場合も速やかに帰宅してください。
- ・ソーシャルディスタンス（2m程度）を取ること。

- ・前日受付時に健康チェックシートを提出しなかった選手は、健康チェックシートを提出すること。
- ・前日受付時に配布されたナンバーシールを、各自で両腕・両足に貼付してから来場すること。
- ・受付後は、速やかにその場を離れること。
- ・大会が設定する新型コロナ対策ガイドラインに協力いただけない方は競技への参加を認めません。

### 3. 開会式・閉会式（成績発表）

- ・開会式、閉会式は行わないこととする。事前に案内する競技説明・注意事項等を確認し、疑問点は事前に事務局まで問い合わせること。

### 4. 競技中

#### <スイム>

- ・密集回避のため1組が100名未満になるように組み分けを行います。
- ・マスクは外して競技を行うこと。（競技中以外は、マスク着用）
- ・マスクは所定のごみ袋に捨てること。（使い捨てマスクの利用を推奨）
- ・特にスタート時、密集を防ぐため互いに意識して距離をとること。（手を広げて触れない距離）

#### <バイク>

- ・トランジションエリアでは、ラックに掛ける自転車の数を減らしてソーシャルディスタンスを確保する。
- ・早くゴールした選手が早く帰路につけるように、トランジションエリアを早期に解放する。

#### <ラン>

- ・対面コースが回避できないため、折り返し地点までの距離を延長して周回数を減らし、密集時間を軽減する。
- ・エイドステーションのスタッフは、マスク・手袋の着用を義務化します。
- ・水の入ったコップは手渡しせずにテーブルに置くので、セルフで取り、廃棄は必ず用意したごみ箱に捨てること。
- ・コロナ対策としてマイボトル携帯を推奨します。

#### <フィニッシュ>

- ・フィニッシュテープの使用を中止します。
  - ・フィニッシュ後の飲食提供はペットボトル and 個包装品とします。
  - ・フィニッシュ後にマスクを配布するので、必ずマスクを着用すること。
  - ・フィニッシュ後は、各自でアンクルバンドを外して速やかにフィニッシュ・メイン会場から離れること。
- ※最終結果は後日学連 HP で確認し、相違があれば事務局へ連絡ください。
- ・入賞者の賞状・副賞は後日郵送します。
  - ・フィニッシュエリアへの立ち入りはご遠慮ください。

### 5. 競技終了後、帰宅前

- ・水道、シャワーの利用は、密にならないように注意すること。
- ・アルコールによる手指消毒を行うこと。
- ・マスクやペットボトルは、各自で持ち帰るか、備え付けのごみ袋に捨てること。

- ・ミーティングは行わず、解散する準備が整い次第帰宅すること。

## 6. 帰宅後

- ・健康観察に努め、発熱・風邪等の症状があった場合は直ちに受診し、2週間以内に新型コロナウイルスに感染があった場合は速やかに大会事務局へ報告すること。

## 7. その他

### (1) 大会が中止になった場合の対応

新型コロナウイルス感染症が再拡大し、大会の開催が困難な状況になる可能性はゼロではありません。そのことを十分ご理解のうえ参加をお願いします。中止の場合は学連 HP でお知らせします。万一、新型コロナウイルスの影響によって大会が中止になった場合は、参加料を全額返金します。ただし、その他の理由による中止の場合は、理由の如何を問わず返金しません。

### (2) 感染拡大地域からの参加について

開催日までにお住まいの都道府県が緊急事態宣言または県外移動の自粛等の対象になった場合は参加を辞退していただく事があります。

### (3) 県外への遠征について

大学によっては県外への遠征自粛等を求めている場合があるので、大会参加においては所属大学より遠征活動の再開が許可されていることが前提になります。所属大学より許可が下りていない場合は、如何なる理由があろうとも大会への参加を辞退してください。

### (4) 観戦者の来場について

選手及び部員以外の保護者、OB・OG の来場は原則としてご遠慮いただくようお願いします。もし、選手の送迎等で止むを得ず来場される場合には最少人数で、選手と同様の感染症対策を熟知してから来場してください。なお、大声での応援は禁止します。(応援可能エリア・立ち入り禁止エリアを設定します)

また、大会後2週間以内に応援者が新型コロナウイルスに感染があった場合も、事務局へ連絡してください。

### (5) 大会スタッフ

本大会は周回コースという特性上、少ない人数での運営を行っております。選手と同様の感染症対策を行った上でさらに新型コロナウイルス抗体検査を実施してから運営にあたり、必要に応じてフェイスシールド・マスクを着用します。

### (6) 大会中に体調不良(感染の疑い)がある選手・スタッフがいた場合

体調不良を感じた場合、速やかに大会スタッフに申し出るか、大会事務局の携帯電話(070-4427-8114)へご連絡ください。医療スタッフの指示に従い、自力での帰宅が可能な場合は速やかに帰宅していただきます。自力での帰宅が困難な場合は救急車の要請をします。帰宅後2週間は健康観察を徹底し、結果を事務局へご連絡ください。新型コロナウイルス感染者がいた場合は、関係機関へ情報提供するとともに、参加選手・スタッフ全員へ連絡し、学連 HP へ掲載いたします。

以上